

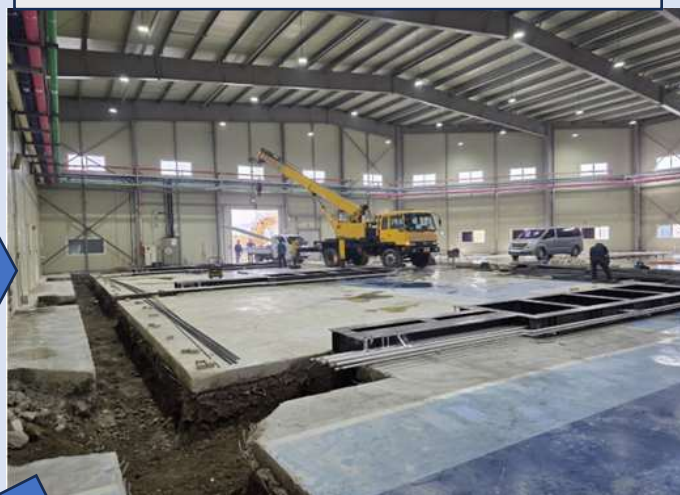
LKの大型鋳造設備導入準備着々と進む

2025年10月の800 t 鋳造機の稼働を目指して現在、LKでは機械据付け場所の工事を行っています。機械の日本からの搬出は8月末を予定しております。
これからLJは機材の出荷船積準備、LKは搬入据付準備で忙しくなります。

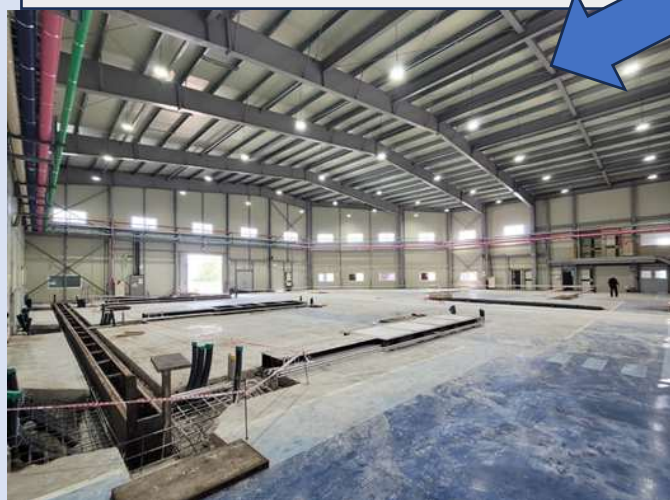
据え付け工事前の800 t 鋳造機設置場所



床を掘削して配管スペースを確保しています



鋳造機設置場所の基礎工事が完了しました



工事は計画通り着々と進んでいます。環境に配慮した工場の認定を受けていますので、環境保全対策も万全を期しています。規制も以前と比較して格段に厳しくなり、認可手続き等も大変ですが、先端産業工業団地ということもありしっかり対応して進めています。
この工場から最先端のBEVのアルミ部品が出荷される日が来るのが楽しみです。

MCT工場から移設した25台の機械と既存の12台を合わせて計37台のMCTが稼働しています
平均的な加工で能力は月間350,000個/直ですので、2直ですと月間700,000個の加工が可能です。



LKにはまだ工場拡張の余地があります

LKはクミ市先端産業工業団地の3区画に入居しており、現在は2区画を使用しています。

3区画目は工場西側に100mX180mの18,000㎡(5,450坪)の土地で第3工場予定地です（下記①の部分）

①の方向からの第2工場を望む



これからの自動車部品業界は高付加価値
低コストが要求されます。

ダイカスト業界にとっては精密鑄造+
大型鑄造機を自動化で対応していく必要
があります。これらには大型投資が必要
ですが、それと同時に新規事業に対応
する人材育成が必要です。

私達TLGはそれに挑戦します。

この辺は
桜がきれいです。



②の方向から第2工場を見たところ第3工場建設を
想定して、入門ゲートとセキュリティーチェック
設備・駐車場を備えています。